

青梅市自治会連合会だより

第
6
号

青梅市自治会連合会 会長 宮口 泉

令和6年3月1日発行



やる気を起こさせるには

黒沢 明という人は、日本が世界に誇る映画監督であったが、こういう話を聞いたことがある。

それは、セット撮影に入る前に、黒沢監督は、スタッフや出演者全員に必ず濡れていない雑巾を持たせて、セットに組まれた大道具（例えば城の一部とか）をから拭きさせるのだそうだ。このから拭きは、もちろん、黒沢監督が先頭に立つ。主演級のスターも大部屋の人も、大道具、小道具の人はもちろん、録音、照明、カメラ、音楽等、とにかく黒沢監督の映画制作にかかわりをもつ人は、すべて動員される。

さて、それでは、このから拭きの結果どういう現象が起こるか、こういうことが起こるといふ。

- ◎ 照明の人 「いままで出したことのない、いい光を当ててやろう」
- ◎ カメラマン 「いままで撮ったことのない素晴らしい映像を撮ってやろう」
- ◎ タレント 「いままで演じたことのないような、最高の演技を見せよう」 という気になる。

以下すべての部門の人が同じような気になる。

これは明らかに監督の率先垂範の姿勢である。から拭きに参加したということで、各人の潜在能力が刺激され、それが顕在化してきたものだ。しかも、それが相乗作用を起こし、互いに互いの潜在能力を触発しあふ。総和としてのパワーは大変なものになる。こういう話だ。

これは勿論、黒沢 明という映画監督としての類稀な才能にもよるが「から拭き」という共同作業によって、全員の気をそろえ、その映画を制作する目的に向かわせたことにある。

今我々に求められていることは、何でもいから一つのことを協働することを通して全員の気をそろえ、目標に向かうことである。個々の資質を高めることと共に集団のパワーを高めていくことこそ求められているのではないだろうか。（平成29年1月14日に行われた第八支会創立50周年記念式典での挨拶に修正・加筆。）

青梅市長 大勢待 利明



青梅市自治会連合会の役員、会員の皆様には、日頃より市政全般にわたり御支援、御協力をいただいております。心からお礼申し上げます。

私は、昨年(2023年)の11月30日、青梅市長に就任させていただきました。青梅市の大きなテーマである自治会の在り方、加入の促進、どうしたらより良い地域のつながりを創り出せるのかという課題に取り組んでいきたいと考えています。

私の自治会活動を申し上げますと、第10支会の河辺北にて、主に体育委員と子ども会の会長を担ってきました。「準備をラクにして活動を楽しむ」をモットーに、LINEやwebを駆使して連絡や会議を簡略化したり、鉄パイプの重いテントを廃止して、ワンタッチ式の軽いテントに変えたり、活動負担の軽減を実行してきました。

コロナ禍では活動に苦慮することも多かったです。現在は、自治会活動が再開していると思います。私たち住民同士が交流できることの意義を改めて認識しながら、皆で一緒に地域づくりを進めていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

各支会からの近況報告

青梅市自治会連合会第1支会（青梅地区） 支会長 京正 等

“限りない可能性を求めて” 第5号に続き「振る舞い輝く!!一中生」の声をお聞きください

～3ない運動×SDGs(青梅一中バージョン)～を軸に頑張る

今回の特集は青梅第一中学校の生徒さんが地域社会とのかかわりを深めている清掃ボランティア活動などに焦点を当てて、参加している生徒さんに生の声を聞いてみました。生徒さんが社会貢献活動の高まりを肌で感じていることやボランティア活動に参加して成長している姿からは、学校運営側の前向きな取り組み姿勢も感じられます。



ミニ青梅マラソン大会

参加を決めた理由は何だったのか

※青梅の町が少しでもきれいになればいいし、色々な経験を積んでみたいと思いました。お祭りでは沢山の人の協力があり、ボランティアの方もいて開催できるのだと実感したのが参加への後押しになりました。社会貢献活動が身近にあることが分かり、チャレンジ精神を發揮したいという気持ちもありました。人助けは自分を磨けるものだと思います。

心がけていることは何か

※人の話をきちんと聞いて、きびきび行動することを心がけています。

ボランティア活動と地域の方々のメリット

※自分が住んでいる町を清掃してきれいにする事で気分が良くなり満足できて、地域の方からも感謝の言葉や「ありがとう」のお礼を言われ、人のために活動することでの高揚感の高まりを感じました。ボランティア活動が生み出す力は、限りない可能性を引き出してくれる特別な鍵です。自治会長さんや地域の方と交流しながらの清掃活動や地域メッセンジャーに取り組むことは、地域に与える影響は大きいもので、継続的にボランティア活動に参加する強い意志を感じました。自治会はこの若い力を大事に育て、そして信じて自助・共助を推進するためにも、学校と自治会が連帯協働で地域のつながりを作り上げていくことができると信じています!!



多摩川清掃

霞川清掃

青梅市自治会連合会第2支会（長淵地区） 支会長 宇津木 順一

今回は昨年11月4日・5日に長淵市民センターで行われた「長淵地区文化祭」で、2日目に出演した青梅市立第二中学校吹奏楽部を紹介します。

青梅第二中学校も生徒数が少なくなり私の在学した頃の吹奏楽部と違い、部員数も6名と少ないクラブです。いつもは第二支会市民運動会の昼休みに演奏していましたが、今回は運動会が半日開催になり演奏時間がないため「長淵地区文化祭」に参加してもらうことになりました。残念なことに当日1人がインフルエンザにかかり5名での演奏でしたが一生懸命演奏してもらいました。

曲目はマーチ（海兵隊）、童謡（ふるさと・もみじ）、讃美歌（アメージンググレース）、ミュージカル（美女と野獣）どれも一度は皆さん聞いた曲で心に響く演奏でした。二中吹奏楽部は、昨年夏東京都中学校吹奏楽コンクール銀賞。また第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門に3年生の中村さんがフルートを担当し、見事文部科学大臣賞を受賞しました。少人数ですが見事な演奏、活躍をしている二中吹奏楽部です。



青梅市立第二中学校吹奏楽部

令和6年の「長淵地区文化祭」での吹奏楽部の皆さんの演奏を楽しみにしています。

青梅市自治会連合会第3支会（大門地区） 支会長 上田 寛

第三支会 令和5年度下半期活動状況 令和5年12月

第三支会では、10月8日に第3ブロックの「スポーツフェスティバル」を開催し、約450名が参加し、10月15日には第2ブロックの「健康な体作り大会」を開催し、約200名が参加しました。



ふるさと祭り2023【本部】

館で文化展を開催）また、新たな試みとして、第三支会各自治会長が主体となり、防災に関する各種体験・防災備品の展示・非常食の試食販売等を行い、自主防災組織の活動を紹介しました。

11月26日には「ファミリーゴルフ大会」を開催し、25チーム・119名の参加があり、団体優勝・個人優勝を目指して競い合いました。



ファミリーゴルフ大会

年明け1月11日に「第三支会新年会」、2月25日には「ビーチボール大会」を開催します。



ふるさと祭り2023【鼓笛隊・囃子連】

青梅市自治会連合会第4支会（梅郷地区） 支会長 古屋 孝男

3つの体験 兜づくり、おにぎりづくり、星座観察

青少対梅郷地区委員会では、体験を通して子どもたちの心と体の成長を促す目的で「梅郷子(うめっこ)ふれあい塾」を毎年開催しています。

今年は、3つの体験を用意して9月30日（土）午後3時から開催しました。体験1は、兜づくりです。武州青梅三田弾正手作り甲冑隊の方々に丁寧に教えていただきました。「今度は鎧全体を作りたい！」という声もありました。体験2は、おにぎりづくりです。自分で作ったおにぎりはとてもおいしかったです。体験3は、夜の星空観察です。青梅市星座愛好会の方の予告時間通り、夜空を通過するスペースシャトルの光を見て「オーッ」と歓声が上がりました。

教えていただいた地域の皆様、ありがとうございました。



梅郷子ふれあい塾

青梅市自治会連合会第5支会（三田地区） 支会長 平岡 孝

第5支会 新年会

第5支会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年と4年は新年会を中止し、令和5年は自治会長のみで縮小して開催しました。令和6年の新年会は、1月13日（土）に、沢井2丁目のままごと屋で、4年ぶりに正副自治会長のほか来賓を招待して開催しました。参加者は、正副自治会長19名、来賓13名で、盛大に新年の顔合わせを行いました。

来年度は、第5支会も自治会長等の改選があり、新たな体制で実施していくこととなります。今年は、元日早々、能登半島で大きな地震がありました。支会としても、地域の結びつき（絆）を強めて、災害に備えて参りたいと思います。



新年会風景

第5支会三役

青梅市自治会連合会第6支会（小曾木地区） 支会長 加藤 博行

一斉周知活動を行いました 「第6支会地域の安全をまもる会」

第6支会地域の安全をまもる会では、防犯・防火・交通安全活動の一環として平成17年から自主的なパトロール活動に取り組んでおり、普及啓発と防犯等の意識向上のため、11月26日（日）に一斉周知活動を行い、各地区からは下記のとおり、多数の方にご参加をいただきました。

富岡地区	30人	小曾木地区	30人
黒沢地区	70人	主催・来賓	8人
合計	138人(内子ども3人)		

今後も地域の安全をまもる会の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



黒沢地区会場での様子

青梅市自治会連合会第7支会（成木地区） 支会長 加藤 利保

第7支会は、豊かな自然環境に恵まれた地域です。高齢化に伴い、支会では、自治会員とともに住みよい生活環境作りに前向きに進み、運営したいと考えています。

また、今年の元日に発生した能登半島地震やこれまでに発生した大型地震を教訓として、成木地区防災訓練はもとより、日々の日常生活のなかで防災意識の充実を図りたいと考えています。

投稿：第7支会会計 宮寺 進



【成木地区文化祭開催】

地域交流として、11月18日（土）・19日（日）に開催しました。

【グラウンド・ゴルフ大会開催】

地域の多世代間交流として、

11月26日（土）に開催しました。



青梅市自治会連合会第8支会（東青梅地区） 支会長 高橋 誠

4年振りに開催の市民運動会！体育参与の重責はありましたが、たくさんの方々からお力添えを頂き、女性ならではの視点を取り入れ《みんなが1日楽しめる運動会！》をコンセプトに大幅変更しました。

種目数を減らし、スピードや力がなくても楽しめるものに変更。自治会対抗戦から、個人ポイント制にし《誰もが・ひとりでも・飛入りでも》参加出来るようにしました。1番の特徴は、参加賞を種目毎に渡す形式から、個人が獲得したポイントに応じて、好きな賞品を選べるようにした事で、お子様やご高齢者を中心に競技参加率が大幅に増え、大会途中で帰る方々が減った事です。



賞品交換所



玉入れ

コミュニティーの繋がりは地域防災計画の面においても非常に重要で、自治会加入世帯の減少・会員の高齢化・担い手不足は、全国の自治会で深刻な問題となっています。今後も、《現状に合った運営方法や行事の見直しを行なわない自治組織は衰退してきている》現実と真剣に向き合っていきたいと思えます。（体育参与 蒲生 真規子）

青梅市自治会連合会第9支会（新町・末広町地区） 支会長 小花 紀彦

今年度も残りわずかになりました。コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、支会の行事もすべて行うことができました。

今回新しい試みとして内容を一新し、開催した運動会について紹介します。自治会員の高齢化ということもあり、半日の開催とし、内容も競技種目は玉入れと綱引きのみに縮小し、健康測定会(握力測定、骨密度検査、血管年齢検査等)とモルック、ポッチャの、新しい競技の体験コーナーを行いました。自治会員さんには、たいへん好評でした。



健康測定会



玉入れ

この運動会をはじめいろいろな行事で、中学生にボランティアとして協力をさせていただきました。来年度はさらに内容を充実して、楽しい活動を行っていききたいと思えます。

青梅市自治会連合会第10支会（河辺地区） 支会長 嶋田 稔

第10支会ビーチボール大会は、令和5年12月3日（日）に開催しました。

ビーチボール大会は、令和2年度と3年度はコロナ禍のため中止、令和4年度は依然としてコロナ禍の中ではありますが、電子ホイッスルの使用、1試合を2セットに減らし時間短縮などの対策を施して開催しました。

今回の開催にあたり、コロナも第5類に移行しどのような形で開催するかアンケート調査を実施しました。徐々に日常生活が元どおりになる中、昨年並みの内容で開催したいとの回答が多数を占めていましたので、2セット終了時点で1勝1敗の場合は引き分けとするなど、昨年と同様にルールを変更して開催しました。

開会式では、あいさつ、ルール説明、選手宣誓を終えた後、スポーツ推進委員指導の元、入念に準備体操を行いました。試合開始前の始球式には、恐竜の着ぐるみが登場するなど思わぬサプライズがあり、会場内は歓声と笑いの渦に包まれました。



白熱した試合が行われました

参加は、30チーム、155人あり、チーム数、参加人数ともに昨年度を上回りました。試合は8つのブロックに分かれて、各チームが3～4試合行いました。選手は大会に向けて練習を重ねていたため、プレーを思い思いにこなし、時にはファインプレーが飛び出すなど、真剣かつ楽しみながらの試合進行でした。

短い時間ではありましたが、特にケガなどもなく無事に試合が終わり、閉会式では各ブロックの成績発表、体育委員長による講評、昨年同様「お楽しみ抽選会」を行いました。

ビーチボール大会はコロナによる中止もありましたが、一部ルールを変更するなどして復活することができました。ビーチボールは誰もが気軽にできるスポーツであり、地域住民の親睦と健康、体力保持増進を図るため、これからも第10支会の体育事業として開催していきたいと考えています。



「恐竜」も登場した開会式

青梅市自治会連合会第11支会（藤橋・今井地区） 支会長 吉永 信之

第11支会は、藤橋自治会連合会（433世帯）と今井自治会連合会（574世帯）で構成されております。

コロナ禍の前までは、それぞれの自治会連合会で運動会を開催していましたが、コロナ禍の終息が見込めると考え、令和5（2023）年度は支会事業として合同で実施しました。7月に実施した夏祭りは、今井自治会連合会の主導でしたので、今回は、藤橋自治会連合会の主導で実施しました。合同で行うこと、また、気分一新の行事であることから、名称は「藤橋・今井合同スポーツイベント」とし、10月8日（日）に、青梅市立今井小学校を会場として実施しました。

当日は7時30分に自治会役員・体育委員などが、会場に集合して準備をはじめ、9時に開会式を行いました。特徴的だったのは、青梅市立新町中学校と第三中学校から8名の生徒がボランティアとして参加してくれたことです。

初めに、体育館において、インストラクターの指導により健康体操を行った後、それぞれの参加者が希望の種目を行いました。種目は、体育館では、輪投げ・ポッチャ・ストラックアウトを行い、運動場では、グランドゴルフとパン釣りを行いました。いずれも競技ではなく、参加者が楽しみながら体を動かすことを目的に行いましたが、最後の玉入れだけは、藤橋地区（55名）と今井地区（65名）の対抗戦として行いました。

初めての合同スポーツイベントでしたが混乱することなく、12時には無事終了しました。役員を含めて、全体では約200名の参加をいただき、全員が楽しみながら体を動かしたイベントとなりました。



スポーツイベントの様子

（令和5年度 青梅市自治会連合会広報委員会）